

要覧

令和2年度
(2020年度)

OKAYAMA
PREFECTURAL
LIFELONG
LEARNING
CENTER



みんな仲間だよ！
(ぱる)

壮

少

老



岡山県マスコット「ももっち・うらっちと仲間たち」



三学ぱる岡山
岡山県生涯学習センター

岡山県生涯学習センター全景



人と科学の未来館マスコット
「サイビィ」

Contents

1 運営の基本方針	1
2 概 要	
1 組 織	1
2 沿 革	2
3 建設概要	3
4 施設概要	3
5 施設配置図	5
3 令和2年度事業体系	6
4 令和2年度主な事業計画	
1 人材育成	7
2 市町村・公民館支援、調査研究	8
3 学習情報の発信	8
4 「学び・交流の場」としての機能充実	9
5 科学教育の推進	9
5 令和元年度事業実績	
1 人材育成	10
2 市町村・公民館支援	12
3 調査研究、学習情報の発信	13
4 「学び・交流の場」としての機能充実	13
5 科学教育の推進	14
6 施設設備の利用状況	15
7 生涯学習情報提供システム（ぱるネット岡山）	15
8 学習相談件数	16
9 視聴覚コーナー	16
10 視聴覚教材コーナー	16
11 図書・ブラウジングコーナー	16
6 関係条例及び規則	
岡山県生涯学習センター条例	17
岡山県生涯学習センター条例施行規則	19
施設等利用料金表	20

1 運営の基本方針

岡山県生涯学習センターは、県民の生涯にわたる学習活動の振興を図るため、県の拠点施設として、「第2次岡山県教育振興基本計画」等を踏まえ、市町村や関係機関などとの連携を図りながら、次の事項を重点として運営する。

特に、持続可能な地域づくり、つながりづくりを目指し、生涯学習指導者等の地域人材の育成、調査研究、情報発信などの機能強化に努めるとともに、「少・壮・老」の三世代の県民が、仲間（ばる）として、楽しく学習や交流ができるゾーン（「三学ばる岡山」）づくりを進める。

令和2年度取組の重点

① 地域の課題解決の中核となる人材の育成とネットワークづくり

- ◇地域課題に対する講座の企画・立案から実践までできる人材の養成
- ◇社会教育関係者の事業推進に係る資質能力の向上とネットワークづくり
- ◇地域の中で若者支援に関わっていく人材の養成
- ◇若者が主体的に地域づくりに取り組める力の養成とつながりづくりの支援

② 人づくり・まちづくりの拠点である公民館活動の支援と調査研究

- ◇多様な主体と連携した公民館活動活性化の取組
- ◇持続可能な公民館活動の普及と館長等公民館職員の資質能力の向上
- ◇地域の課題解決や諸事業のコンサルティングによる市町村支援
- ◇社会教育に関する現代的な課題等について調査研究を行い好事例集を作成・配布

③ 生涯学習情報の積極的な発信と学習支援

- ◇生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」の効果的な活用及び情報提供
- ◇多様な主体と連携した生涯学習大学連携講座の充実
- ◇企業の地域貢献活動を支援するためのプログラムの作成・登録・活用

④ 「学び・交流の場」としての機能充実

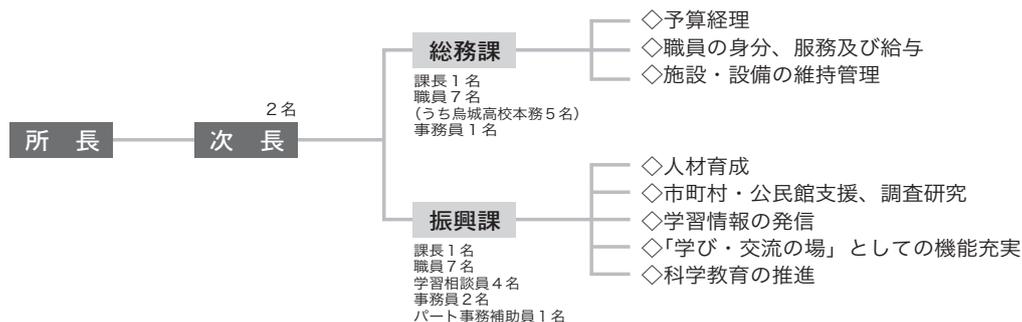
- ◇県立文化・社会教育施設をキャンパスとした新たな学びの創出
- ◇実践の機会や場、出会い・交流の場の提供
- ◇義務教育段階の基礎的な学習の学び直しの場の提供（拡充）

⑤ 科学教育の推進

- ◇人と科学の未来館サイピアの運営支援（指定管理者事業実施）
- ◇JAXAとの連携

2 概要

1 組織



2 沿 革

平成2年1月	中央教育審議会が文部大臣に対し「生涯学習の基盤整備について」を答申。 この中で、地域の生涯学習を推進するための中心機関となる「生涯学習推進センター」について、都道府県が設置することが適当である旨を答申した。
平成3年4月	第4次岡山県総合福祉計画の中で、学習情報の提供、学習相談、指導者の養成等を行う生涯学習推進センターの必要性及び単位制高等学校の整備を進めることが述べられた。
平成4年3月	岡山県生涯学習推進会議が、「岡山県における生涯学習推進の基本的な考え方」についての意見具申の中で、県の生涯学習推進の中核施設である「生涯学習推進センター」の早急な整備を求めた。
平成5年3月	岡山県立短期大学跡地に、生涯学習推進センター（仮称）と単位制に改編する県立烏城高等学校を一体的に整備する「生涯学習推進センター（仮称）整備基本構想」策定
平成6年3月	「岡山県立短期大学跡地整備基本計画」策定
12月	岡山県立烏城高等学校・生涯学習推進センター（仮称）基本設計」完了
平成7年3月	「岡山県立烏城高等学校・生涯学習推進センター（仮称）実施設計」完了
11月	建設工事着工
平成8年12月	岡山県生涯学習センター竣工
12月	12月議会において「岡山県生涯学習センター設置条例」制定
平成9年1月	同条例施行、機関設置
2月	岡山県生涯学習センターオープン記念式
2月	岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」稼働
5月	岡山県生涯学習大学「のびのびキャンパス岡山」開設
平成10年2月	「県立烏城高等学校・県生涯学習センターの一体的運営に関する委員会」発足
10月	岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」が岡山情報ハイウェイに接続され、インターネット上で情報提供開始
平成12年6月	岡山県公民館連合会事務局を県教育庁生涯学習課から移管
平成12年度	文部省委嘱事業「生涯学習ボランティア推進フォーラム」、「キャリア開発学習情報提供推進事業」実施
11月	岡山県生涯学習推進中核施設連絡協議会を設立
平成13年3月	国庫補助「情報技術学習環境整備事業」によりパソコン教室2を整備
平成14年2月	岡山県生涯学習センター開所5周年記念事業を実施
3月	岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」を更新
4月	「おかやま長寿学園」を「岡山県生涯学習大学」に統合
4月	情報・創作棟4階 資料室をパソコン教室2として供用開始
6月	岡山県公民館連合会発足50周年に伴う記念事業を実施
7月	岡山県体験活動ボランティア活動支援センターを設置
平成17年4月	生涯学習・社会教育担当者向けの研修をリニューアル
平成18年3月	岡山県生涯学習推進施設中核施設連絡協議会を解散
11月	「まなびピア岡山2007」プレフェスティバルを開所10周年記念事業と兼ねて開催
平成19年2月	岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」を更新
4月	施設設備の維持管理業務及び施設等の利用許可業務等一部の業務に指定管理者制度を導入
4月	情報・創作棟4階 パソコン教室2をミーティング室4、データ入力室をパソコン教室2として供用開始
11月	「まなびピア岡山2007in 三学ばる岡山」を開催
平成20年11月	池田動物園、県立児童会館、岡山県生涯学習センターで連携し「京山キッズゾーン」を立ち上げ、「第1回京山祭」を開催
11月	「おかやま学びフェスタ2008」を開催
平成21年4月	情報課を振興課に統合し新しく振興課とする。
平成23年3月	県立児童会館閉館
平成23年9月	「岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）整備基本計画」策定
平成24年4月	「岡山県生涯学習センター運営協議会」設置
平成24年5月	「岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）専門委員会」設置 （のちに「岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア専門委員会」に名称変更）
平成24年6月	岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）建設工事着手
平成24年10月	新施設の名称が「人と科学の未来館サイピア」に決定
平成25年3月	岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア竣工
平成25年4月	施設設備の維持管理業務及び施設等の利用許可業務等の一部の業務に、人と科学の未来館サイピア及び児童遊園地の運営業務、喫茶棟の利用促進業務を加えて指定管理業務を開始
4月	情報・創作棟5階 教材制作室をミーティング室5として供用開始
4月	岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア開館
平成26年4月	岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア 入館者10万人達成
平成27年2月	岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア 入館者20万人達成
平成28年度	岡山県生涯学習センター開所20周年記念事業を実施（11月・2月）
平成29年8月	岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア 入館者50万人達成
平成30年2月	岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」を更新
平成30年4月	岡山県生涯学習センターの指定管理者更新
平成31年2月	情報・創作棟の耐震工事竣工（平成30年7月着工）
令和元年11月	岡山県生涯学習センター困障改修工事（1工区、2工区）竣工（令和元年7月着工）
令和2年4月	情報・創作棟4階 パソコン教室1を中研修室、パソコン教室2をパソコン教室、情報・創作棟5階編集室をミーティング室6、録画・録音スタジオ及び調整室をスタジオ及び控室として供用開始

3 建設概要

敷地面積 45,010㎡

建築面積 7,566㎡

延床面積 14,320㎡

構造規模

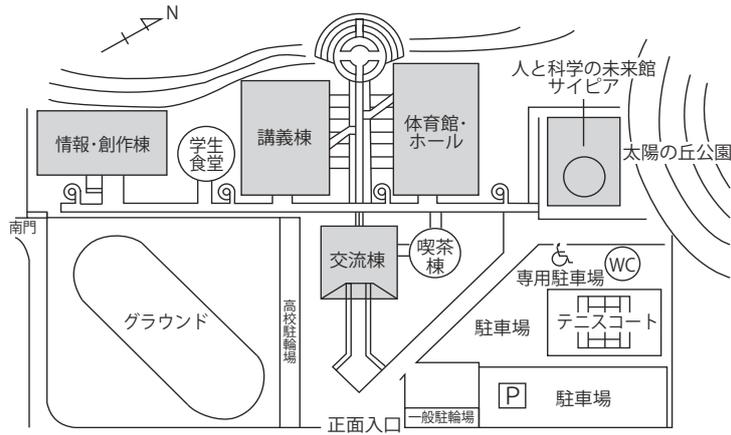
交流棟／鉄筋コンクリート造2階建 学生食堂／鉄筋コンクリート造平屋建
 情報・創作棟／鉄筋コンクリート造5階建 喫茶棟／鉄骨造平屋建
 講義棟／鉄筋コンクリート造5階建 公衆便所／鉄筋コンクリート造平屋建
 体育館／鉄筋コンクリート造2階建
 人と科学の未来館サイピア／鉄筋コンクリート造2階建
 駐車場／鉄骨造、アスファルト・芝生舗装

4 施設概要

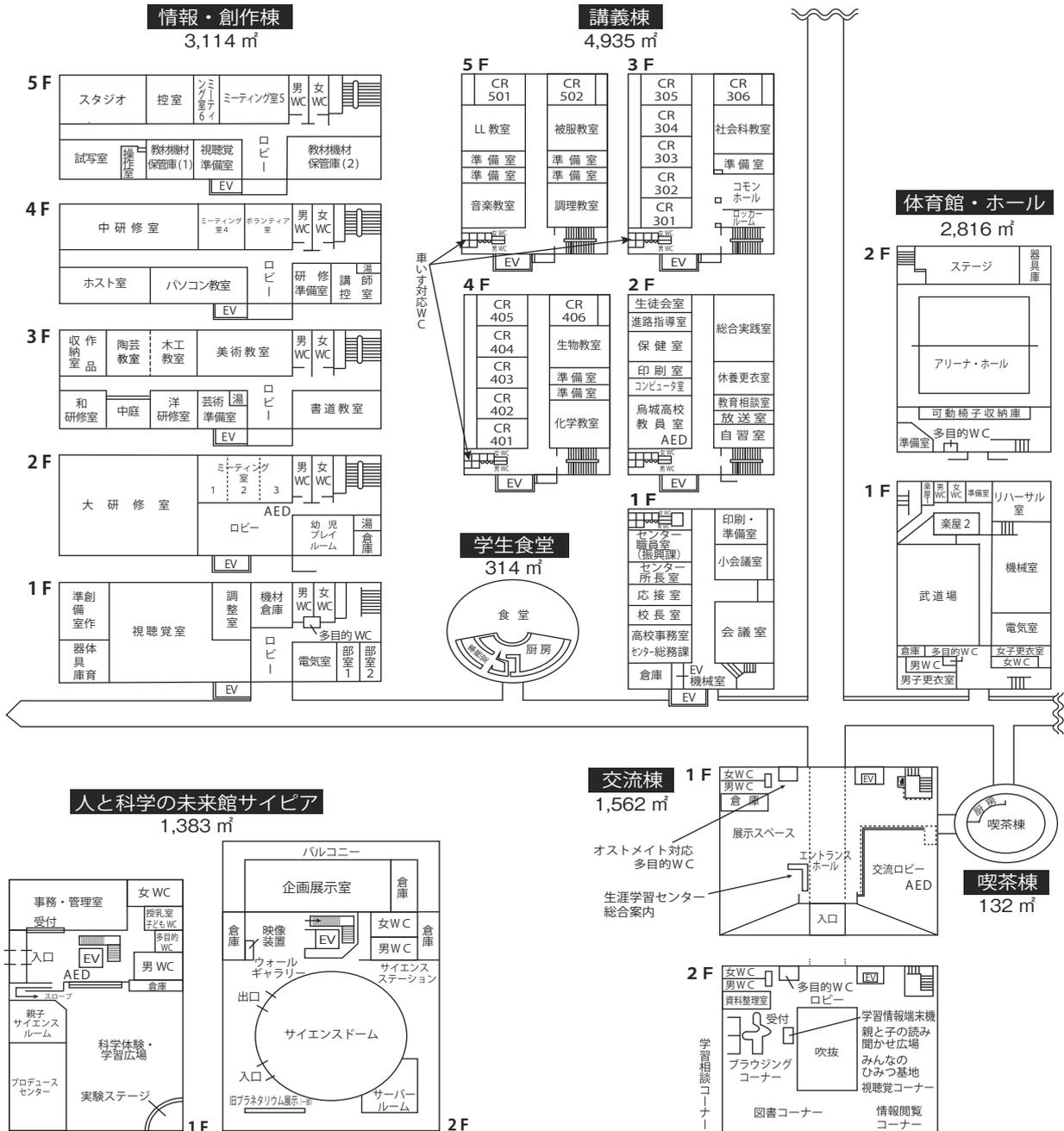
建物	階別	室名	面積	定員	主要設備内容	
情報・創作棟	1階	視聴覚室	261㎡	72人	ハイビジョン対応のプロジェクター、その他各種映像再生機器	
	2階	大研修室	261㎡	150人	液晶プロジェクター、簡易ステージ、DVDビデオデッキ、演台、ホワイトボード、スクリーン	
		ミーティング室1	28㎡	18人	ホワイトボード	
		ミーティング室2	22㎡	12人	ホワイトボード	
		ミーティング室3	28㎡	18人	ホワイトボード	
		幼児プレイルーム	50㎡	—	幼児用絵本、おもちゃ、ビデオ付テレビ等	
	3階	和研修室	33㎡	—	茶道用道具（有料）	
		洋研修室	33㎡	12人	—	
		陶芸教室	39㎡	24人	作業台、電動ろくろ等陶芸工具	
		木工教室	39㎡	8人	卓上糸鋸盤等木工具	
		美術教室	80㎡	35人	チャートハンガー、各種画材用具等、プロジェクションテレビ	
	4階	書道教室	66㎡	32人	チャートハンガー、プロジェクションテレビ	
		中研修室	116㎡	60人	ホワイトボード、スクリーン、プロジェクター	
		パソコン教室	66㎡	20人	パソコン21台、プリンター、スクリーン、プロジェクター	
		ボランティア室	40㎡	18人	ホワイトボード、スクリーン	
		ミーティング室4	40㎡	18人	ホワイトボード、スクリーン	
		ホスト室	66㎡	—	—	
	5階	講師控室	28㎡	—	—	
		スタジオ（控室）	116㎡	—	グランドピアノ（有料）	
		ミーティング室5	58㎡	26人	ホワイトボード	
		ミーティング室6	21㎡	12人	ホワイトボード	
	講義棟	1階	試写室	66㎡	18人	プロジェクター、DVDプレーヤー、16ミリ映写機等
			校長室	40㎡	—	—
応接室			40㎡	—	—	
事務室			75㎡	—	（高校事務室、センター総務課）	
所長室			40㎡	—	—	
センター職員室			80㎡	—	（センター振興課）	
会議室			121㎡	63人	—	
小会議室			64㎡	32人	—	
印刷・準備室	64㎡	—	—			

建 物	階別	室 名	面積	定員	主 要 設 備 内 容
講 義 棟	2階	教 員 室	160㎡	—	—
		コ ン ピ ュ ー タ 室	40㎡	—	—
		印 刷 室	40㎡	—	—
		保 健 室	66㎡	—	—
		進 路 指 導 室	54㎡	—	—
		生 徒 会 室	43㎡	—	—
		総 合 実 践 室	163㎡	—	パソコン 42台
		休 養 更 衣 室	80㎡	—	—
		教 育 相 談 室	40㎡	—	—
		放 送 室	40㎡	—	—
	自 習 室	80㎡	—	—	
	3階	CR(クラスルーム)× 6	64㎡	40人	—
		社 会 科 教 室	120㎡	40人	ホワイトボード
		コ モ ン ホ ー ル	80㎡	—	自動販売機、洗面台
		ロ ッ カ ー ル ー ム	80㎡	—	—
	4階	CR(クラスルーム)× 6	64㎡	40人	—
		生 物 教 室	120㎡	40人	—
		化 学 教 室	121㎡	40人	—
	5階	CR(クラスルーム)× 2	64㎡	40人	—
		L L 教 室	120㎡	40人	LLシステム
音 楽 教 室		117㎡	40人	グランドピアノ、CD等音響機器	
被 服 教 室		121㎡	40人	—	
	調 理 教 室	120㎡	40人	—	
交 流 棟	1階	展 示 ス ペ ー ス	200㎡	—	生涯学習センター総合案内、展示パネル、展示ケース
		交 流 口 ビ ー	220㎡	80人	プロジェクションテレビ
	2階	親と子の読み聞かせ広場	80㎡	—	—
		みんなのひみつ基地	77㎡	—	—
		視 聴 覚 コ ー ナ ー	3㎡	—	DVD用ブース (5ブース)
		情 報 閲 覧 コ ー ナ ー	144㎡	—	—
		学 習 相 談 コ ー ナ ー	80㎡	—	生涯学習情報提供システム公開端末機 (2台)
図書・ブラウジングコーナー	160㎡	—	—		
体 育 館・ ホ ー ル	1階	武 道 場	336㎡	—	—
		リ ハ ー サ ル 室	93㎡	—	—
		楽 屋 1	12㎡	—	洗面台、丸椅子、コートハンガー
	楽 屋 2	25㎡	—	洗面台、丸椅子、コートハンガー	
2階	ア リ ー ナ	896㎡	500人	可動椅子500席 (有料)、各種音響・照明設備、プロジェクションテレビ、OHC	
学 生 食 堂	1階		314㎡	220人	鳥城高等学校専用
喫 茶 棟	1階		132㎡	64人	(グリルばる)
グラウンド			7,273㎡	—	夜間照明
テニスコート			1,254㎡	—	オムニコート2面
駐 車 場		立 体 ・ 平 面	1,751㎡	—	普通車180台、大型バス4台、身体障害者用1台
		芝 生	976㎡	—	普通車29台、身体障害者用3台
人 と 科 学 の 未 来 館 サイピア	1階	科学体験・学習広場	237㎡	—	液晶プロジェクター、大型モニター、スクリーン他
		プロデュースセンター	70㎡	—	ホワイトボード他
		親子サイエンスルーム	33㎡	—	幼児用絵本、おもちゃ、各種遊具他
	2階	企 画 展 示 室	101㎡	—	液晶プロジェクター、スクリーン他
サイエンスドーム		176㎡	132人	投影機他	

5 施設配置図



生涯学習センター・鳥城高等学校施設内配置図



3 令和2年度事業体系

人材育成

◇基礎研修	・ 初任者研修
◇実践型指導者養成	<ul style="list-style-type: none"> ・ みんな集まれ！社会教育宿泊研修 ・ 社会教育実践専門講座 ・ 若者発！まちプロ ・ 若者と「つながる」事業 ・ 公民館長・職員研修 ・ 地域学校協働活動推進員等レベルアップ講座 ・ 親育ち応援学習リーダースキルアップ講座 ・ すこやか家庭教育相談員養成講座・子育てサポータースキルアップ講座 ・ 子どもほっとライン相談員養成講座

市町村・公民館支援、調査研究

◇市町村支援	・ 生涯学習・社会教育よろず相談（市町村コンサルティング）
◇公民館活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館連合会研修 ・ 公民館職員が選ぶ！講座アワード ・ 【新】市町村出前講座事業
◇調査研究	・ 生涯学習・社会教育にかかわる調査・研究「防災を通じた人づくり・地域づくり」

学習情報の発信

◇情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ ばるネット岡山の管理と運営 ・ 【新】企業発！みらプロ ・ おかやま子ども応援人材バンク
◇生涯学習大学	・ 連携講座
◇学習相談	・ 相談業務の充実と広報
◇広報	・ H P、Facebook等による発信
◇教材の活用と提供	・ 視聴覚教材、機材

「学び・交流の場」としての機能充実

◇発表、展示、体験、交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京山祭 ・ 企画Labの運営 ・ 施設ボランティアの活動支援
◇生涯学習大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主催講座「きっず☆ユニバ」 ・ 生涯学習の集い
◇学び直し	・ 学びingばる教室（公民館等を活用した夜間学び直し推進事業）
◇生涯学習団体等への貸出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報・創作棟（研修室、会議室）の活用 ・ 交流棟の活用（展示、発表）

科学教育の推進

◇サイピアの運営支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ プラネタリウムプログラム ・ 科学実験教室 ・ 学校学習利用の促進 ・ 企画展示
◇JAXA連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育支援（授業支援、教職員研修） ・ 社会教育支援（宇宙の学校、コスミックカレッジ）

4 令和2年度 主な事業計画

1 人材育成

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
生涯学習・社会教育関係職員研修講座 初任者研修	生涯学習・社会教育行政の推進に必要な基礎的な知識・技能の研修を行い、行政職員や生涯学習推進者としての資質の向上を図る。また、職員間のネットワークづくりを支援する。(第2回は、みんな集まれ！社会教育宿泊研修と兼ねる。)	生涯学習・社会教育推進担当で勤務年数が少ない方、基礎的な知識を学びたい方等	5月～10月	140千円
みんな集まれ！社会教育宿泊研修	生涯学習・社会教育関係者が自らの事業に生かせるよう、その重要な要素となるコーディネーションやファシリテーションに焦点を当て、事業推進のキーパーソンとしての意識や能力の向上を図る。また、関係者のネットワークづくりを図る。(生涯学習・社会教育関係職員研修講座第2回初任者研修を兼ねる。)	市町村行政担当者、公民館職員、NPO等生涯学習・社会教育団体関係者、地域学校協働活動関係者、首長部局(まちづくり等)、大学生等	9月～10月	343千円
社会教育実践専門講座	県の社会教育行政の当面する諸課題に対応し、事業や講座の企画・立案、人や情報のコーディネート、各種団体等との連携など、専門的な知識・技術に関する研修及び日常の業務に役立つ実践的な研修を行う。 令和2年度のテーマは「高齢者の活躍」(予定)	生涯学習・社会教育担当職員、公民館職員、首長部局関係職員、社会教育施設職員、学校教育関係者、社会教育・生涯学習に関わるボランティア・NPO等	9月～12月	243千円
若者発！まちプロ	県内の地域づくりの第一線で活躍している方とところへインターンに行き、実践型研修をとおして自らの思いを実現するための自主性・行動力を身につけることで、それぞれの地域や学校で活躍する人材の育成を図る。	県内大学生等	5月～9月	454千円
若者と「つながる」事業	今若者がおかれている現状・課題についての理解を深めるとともに、若者との関わり方や大人の役割について考え、実際に高校生と関わる活動を通して、これからも地域社会の中で、若者支援に携わったり、広めたりしていこうとする人材の育成を図る。	大学生や社会人(20～40歳ぐらい)等	9月～令和3年1月	470千円
岡山県公民館連合会研修	公民館における現代的課題についての研修を行い、職員や市町村公民館担当者の資質の向上を図る。	公民館職員、市町村教育委員会公民館担当者	5月～令和3年1月	県公連予算で対応
地域学校協働活動推進員等レベルアップ講座	地域学校協働活動に関係する地域学校協働活動推進員や市町村担当者などが必要とするコーディネート力、ファシリテート力等の資質・能力の育成・向上を目的とする。	地域学校協働活動推進員または推進員として活躍が期待される方、市町村教育委員会担当者・社会教育関係職員	6月～10月	242千円
親育ち応援学習リーダースキルアップ講座	「親育ち応援学習リーダー養成講座」の修了生や「親育ち応援学習プログラム」を活用している家庭教育関係者が一堂に会して交流や情報交換を行うことで、ファシリテーターのスキル向上やネットワークの構築、「親プロ」活用に向けての気運を高める。	「親育ち応援学習リーダー養成講座」修了生、市町村家庭教育担当者、保健福祉関係者、家庭教育支援チーム員、「親育ち応援学習プログラム」活用に興味のある方等	11月	173千円
すこやか家庭教育相談員養成講座・子育てサポータースキルアップ講座	すこやか家庭教育相談員の養成と資質向上、また、家庭教育支援関係者、子育てサポーター等のスキルアップを図るため、乳幼児期から少年期の家庭教育に関する専門的知識の習得を目指す。	すこやか家庭教育相談員、市町村関係職員、社会教育・学校教育関係職員等の家庭教育支援関係者、子育てサポーター・子育て支援団体・グループのリーダー等で市町村から推薦を受けた方	10月	318千円
子どもほっとライン相談員養成講座	新規の学生相談員を養成するため、子どもを取り巻く問題、電話相談の基本的なあり方、カウンセリングに関する知識・技術の習得及び資質の向上を図る。	新規学生ボランティア相談員(継続学生ボランティア相談員も可)	5月	

2 市町村・公民館支援、調査研究

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
生涯学習・社会教育よろず相談	市町村の生涯学習・社会教育計画、各地域に応じた課題、諸事業などについて、大学関係者、県生涯学習センター社会教育主事等が、市町村教育委員会、公民館等に対するコンサルティングを行うことにより、より有効な生涯学習・社会教育推進体制の整備を図る。	市町村教育委員会	年間	174千円
岡山県公民館連合会	県下の公民館等と連携し、地域の拠点として豊かな地域づくりを担う公民館活動の振興発展に寄与する。	公民館職員	随時	県公連予算で対応
[新] 市町村出前講座事業	市町村からの要請に応じて当該市町村で行われている公民館研修会等（連絡会も含む）に岡山県公民館連合会が出向き、実態に応じた研修等を行い、各市町村の公民館職員の資質・能力の向上を図る。また、その研修等が効果的に進められるようワークシート集を作成する。	公民館・市町村公民館所管課	年間	県公連予算で対応
調査研究	生涯学習・社会教育に関する調査・研究を実施する。	県民一般	年間	250千円

3 学習情報の発信

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
生涯学習情報提供システムの管理と運営	「ばるネット岡山」を活用し、学習情報提供の充実を図る。		年間	運営費で対応
生涯学習情報の収集・整理	「ばるネット岡山」で提供する「講座・イベント情報」「講師・ボランティア情報」等の更新と情報量の充実を図る。		常時	運営費で対応
[新] 企業発！みらプロ	社会教育主事がコーディネーターとして相談・助言を行いながら、企業の資源を生かした「学習」と「社会」をつなぐ子どもの「学びの場」の1つとして、地域貢献活動を行いたい企業とプログラムを協働して作成することで、企業等が教育の観点から積極的に参画する社会づくりを推進する。	学校・公民館等で地域貢献活動を行いたい企業（2企業）	年間	155千円
おかやま子ども応援人材バンク	企業・団体等の方々がある専門的な知識や経験などを学校教育や休日・放課後等における教育活動に取り入れ、子どもの豊かな学びや成長を支援する仕組みづくりを推進する。	県民一般	年間	運営費で対応
生涯学習大学	県の特性を生かした講座を開設するとともに、多様な学習講座を体系化し情報提供する。さらに、学習成果を評価することにより、生涯学習の一層の振興を図る。 (主催講座) 生涯学習センターが主催する講座 きっず☆ユニバ (連携講座) 他の行政機関及び民間等が主催する講座	県民一般 定員 100名 定員 講座ごとに設定	年間	5,475千円
生涯学習の集い	岡山県生涯学習大学の受講生に対し、証書の授与や学習成果発表の場を提供するとともに、生涯学習フォーラムを開催し、本県における生涯学習の普及・啓発を図る。	受講生 県民一般	令和3年 2月	
学習相談	学習相談員が面談、手紙、電話、ファクシミリ、電子メールで、生涯学習に関する相談に応じる。	県民一般	常時	運営費で対応
情報・図書資料の収集・整理	図書、逐次刊行物、新聞等を収集・整理し学習者に提供する。	県民一般	常時	運営費で対応
視聴覚コーナーの整備・運営	専用ブースで、郷土に関する映像や映画、アニメーション等を提供する。	県民一般	常時	479千円
視聴覚教材・機材の整備・貸出	視聴覚教材や機材の整備・貸出等を行い、学習活動を支援する。	県内の団体	常時	運営費で対応
視聴覚教育の普及・広報活動	視聴覚教材新着リストを作成し、一般への視聴覚教育の普及と視聴覚教材の利用促進を図る。	教材利用団体	随時	運営費で対応
センターだより（情報誌）等の発行	センターの事業等を紹介するために、要覧、リーフレット、情報誌等を作成し、関係機関等に配布する。	県民一般 関係機関	要覧 年1回 情報誌 年1回 リーフレット随時	運営費で対応

4 「学び・交流の場」としての機能充実

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
京山祭	生涯学習センターの施設の一部を開放し、体験や遊びのコーナーを設け、家族や仲間とのふれあいや交流の場を提供する。	県民一般	6月、12月	互助助成事業予算で対応
発表・展示・交流	展示スペース、交流ロビー等を生涯学習の成果の発表の場として提供する。	生涯学習関連団体 県民一般	年間	運営費で対応
施設ボランティアの活動の促進	自己実現及び社会参加を目的に、自発的、自主的なボランティアとしての活動を促し、生涯学習センター、人と科学の未来館サイピアの運営機能の活性化を図る。	県民一般、大学生等	年間	運営費で対応
企画 Lab の運営	社会貢献への思いをもった方や講座修了生等に実践の場を提供するとともに、県民に対しての出会い・交流の場を提供する。 ・みんなのひみつ基地 ・交流棟での活動 等			
イベントの運営・補助	各種イベント等の運営補助、出展ブースの企画・運営等の活動の場を提供する。 ・宇宙の学校 ・サイピアサイエンスショー ・京山祭 ・生涯学習の集い 等			
公民館等を活用した夜間学び直し推進事業「学びingばる教室」	義務教育段階の基礎的な学習の学び直しの場を提供する。	県民一般	年間 毎月2回	1,027千円
施設・設備の提供	県民に生涯学習センターの施設・設備を提供し、生涯学習を支援する。	関係機関 県民一般	常時	運営費で対応

5 科学教育の推進

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
人と科学の未来館サイピアの運営支援 (指定管理者実施)	プラネタリウム投影 ドーム内イベント（コンサート、記念講演） 企画展示 科学実験教室等 学校学習の受入れ 子ども科学クラブ (子ども天文教室) (わくわく仮説実験教室) 友の会 科学フェスティバル サイエンス・インストラクター パンフレット、チラシ、広報紙	県民一般 県民一般 県民一般 県民一般 小中学校等 会員 会員 県民一般 県民一般 県民一般	年間 年間 年間 休日、夏休み等 随時(平日) 年間8回 年間9回 交流会年1回 会報誌毎月発行 夏期 養成講座年7回 随時	46,276千円
JAXAとの連携事業	JAXAとの事業連携に基づき、関係機関、団体や市町村教委等と連携を図り、学校教育及び社会教育支援事業を実施し、宇宙教育の振興を図る。 ○学校教育支援活動：県内2小学校を中心に計画 ○教職員研修支援活動：総合教育センター研修において計画 ○社会教育支援活動：コズミックカレッジ ：宇宙の学校 ：宇宙の学校指導者セミナー ○パブリックビューイング	県内2小学校 県内教職員 県民一般 県民一般 県民一般	年4回 年1回 年1回 年4回 年1回 随時	1,295千円
連携・協働型事業	県教育委員会や大学・企業、NPOを含めた各種団体との連携・協働により、魅力的な事業の誘致、共催実施等を図る。	県民一般	随時	
専門委員会の開催	サイピアの運営について、広く学識経験者、教育関係者等から意見を聴取し、各種施策に反映させる。		年2回	

5 令和元年度事業実績

1 人材育成

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
生涯学習・社会教育関係職員研修講座 初任者研修	令和元年5月10日	生涯学習・社会教育の推進に必要な基本的な知識の理解・技能の研修を行い、行政職員や生涯学習推進者としての資質向上を図った。また、職員間のネットワークづくりを支援した。 ◆第1回（岡山市新任公民館職員研修と兼ねる。） 【講義】「基礎から学ぶ生涯学習・社会教育」 講師 岡山大学大学院教育学研究科 教授 熊谷 慎之輔 【説明】「岡山県の社会教育行政の現状」 説明者 岡山県教育庁生涯学習課 総括副参事 東川 絵葉 【ワークショップ】「地域のミリョク」 岡山市立津高公民館 主任（社会教育主事）花房 聡子 岡山市立一宮公民館 主任（社会教育主事）坪井 玲子 岡山市立御南西公民館 主任（社会教育主事）長崎 百絵	78名
	令和元年9月25日 ～9月26日	◆第2回（みんな集まれ！社会教育宿泊研修、地域学校協働活動推進員等レベルアップ講座第2回と兼ねる。） 【講義・演習】「人を巻き込み、動くプロジェクト・集団を生み出す～コーディネートから場づくりまで～」 講師 株式会社いるむすび 代表取締役 古林 拓也	17名
みんな集まれ！ 社会教育宿泊研修	令和元年9月25日 ～9月26日 (再掲)	(生涯学習・社会教育関係職員研修講座初任者研修第2回、地域学校協働活動推進員等レベルアップ講座第2回と兼ねる。) ◆1日目・2日目 【講義・演習】「人を巻き込み、動くプロジェクト・集団を生み出す～コーディネートから場づくりまで～」 講師 株式会社いるむすび 代表取締役 古林 拓也	29名
社会教育実践専門講座	令和元年10月31日	令和元年度のテーマは「社会教育の視点をもった防災学習プログラムづくり」 ◆第1回 【実践発表】「岡山市立一宮公民館での防災講座の取組について～『女性のための防災講座 防災に私の声をいかそう』を中心に～」 発表者 岡山市立一宮公民館 地域担当職員 吉村 万理 【講義・体験】「社会教育の視点をもった防災学習プログラム」 講師 神戸学院大学現代社会学部社会防災学科 教授 前林 清和	9名
	令和元年11月28日	◆第2回 【事例発表・演習】「防災をみんなにとってハッピーにするコツ～さまざまな事例から学ぼう～」 【演習】「プログラム作成」 講師 特定非営利活動法人 ふくおかNPOセンター 代表 古賀 桃子	13名
	令和元年12月19日	◆第3回 【演習】「プログラム作成・発表」 講師 岡山県生涯学習センター振興課員	11名
若者発！まちプロ	令和元年6月1日 令和元年6月8日 令和元年7月6日 令和元年8月7日 ～9月6日 のうち5日間程度 (日時については、受け入れ先と受講生で相談の上決定) 令和元年9月7日	地域活動に興味・関心をもつ県内大学生等を対象に、県内の地域づくりの第一線で活躍している方とところで実践型研修を行い、地域づくりの現状に触れるとともに、自らの思いを実現するための自主性、行動力を身につけることで、地域や学校で活躍する人材の育成を図った。 ◆第1回【現地視察研修】「地域活動の流れを知る」（マイクロバスで巡回） ○課題発見、目標設定、自己評価等の活動の流れを学ぶ。(車中) ・6/1 総社市→高梁市（2か所）→真庭市 ・6/8 和気町→岡山市→久米南町→赤磐市 ◆第2回【事前研修】「目標設定を行う」 ○インターン先の活動内容や課題を調べ、共有する。 ○目標を設定し、活動の流れを学ぶ。 ◆第3回【実践トライアル】 ○現地研修中に地域課題や活動の中で自分ができることを見つけ実践的に取り組む。 ○インターン先とともに立てた課題に向かって、実践に取り組む。 <インターン先>（県内8カ所） ・（一社）コミュニティデザイン（真庭市） ・佐藤紅商店（高梁市） ・カフェ裏駅（高梁市） ・NPO法人らんたん（久米南町） ・誠和学舎（総社市） ・タワラデザインワークス（岡山市） ・（一社）岡山県地域おこし協力隊ネットワーク（県内） ・（一社）まなびと（和気町） ◆第4回【振り返り・発表】 ○現地での学びを発表し合い、振り返ることで共有する。 ○インターン先とテレビ会議システムをつなぎ、発表を聞いてもらう。 講師 岡山県地域おこし協力隊ネットワーク 藤井 裕也	16名

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
若者と「つながる」事業	令和元年7月14日 ～ 令和2年1月15日	大学生や社会人（20～40歳ぐらい）を対象に、今若者がおかれている現状・課題についての理解を深め、若者との関わり方や大人の役割について考え、高校生と関わる活動を通して、地域社会の中で、若者支援に携わったり、広めたりしていこうとする人材の育成を図った。 ＜ファシリテーター育成＞（全9回） ◆第1回【ファシリテーター育成研修】 ◆第2回【高校での授業実践①にスタッフとして参加】 ◆第3回【高校での授業実践②にスタッフとして参加】 ◆第4回【高校での授業実践③にスタッフとして参加】 ◆第5回【高校での授業実践④にスタッフとして参加】 ◆第6回【高校での授業実践⑤にスタッフとして参加】 ◆第7回【高校での授業実践⑥にスタッフとして参加】 ◆第8回【高校での授業実践⑦にスタッフとして参加】 ◆第9回【高校での授業実践⑧にスタッフとして参加】	4名
	令和元年7月19日 ～ 令和元年10月23日	＜コンポーザー研修＞（全7回） ◆第1回【コンポーザー説明会】・若者たちが置かれている現状や課題・事業の内容やコンポーザーについての説明 ◆第2回【授業に向けての講座①】・事前打合せ・関わり方研修 ◆第3回【授業に向けての講座②】・プレゼン練習会 ◆第4～7回【実践（クレシェンド）①～④】・コンポーザーとして授業参加 講師 NPO法人 D×P	8名
	令和元年11月17日 ～ 令和2年2月25日	＜ボランティア研修＞（全6回） ◆第1回【ボランティア説明会・研修会】ボランティアとして参加 ◆第2～5回【実践⑤～⑧】ボランティアとして参加 ◆課外【有志による高校での自主企画授業】 ・ボランティア有志が自分の職業や特技を生かした自主企画授業	11名
岡山県公民館連合会研修	令和元年5月23日	◆第1回 【事例発表】「防災対策～公民館だからできること～」 発表館 倉敷市郷内公民館 【講演】「日々のつながりが災害時に生きる」 講師 NPO法人まち・コミュニケーション 代表理事 宮定 章	67名
	令和元年7月10日 (県北会場)	◆第2回(館長研修) 【講義・演習】「点検！わたしの公民館」 講師 特定非営利活動法人 ふくおかNPOセンター 代表 古賀 桃子	(県北)13名
	令和元年7月11日 (県南会場)		(県南)52名
	令和元年10月8日	◆第3回 【講義・演習】「講座づくりのものと」 講師 那覇市若狭公民館 館長 宮城 潤	39名
	令和元年12月12日 (県南会場)	◆第4回(社会教育施設職員等研修会と兼ねる) 【講義・演習】「広報紙でアピール ～思いの伝わる〇〇だより～」 講師 株式会社ベンコム 代表取締役 増田 ゆきみ	(県南)31名
	令和元年12月13日 (県北会場)		(県北)17名
	令和2年1月30日	◆第5回 【報告会】「平成30年度地域の課題解決に向けた『地域のつながりづくり』 公民館・学生協働プロジェクト」事業報告会 報告館 笠岡市新山公民館、岡山市立光南台公民館 【実践発表】「第2回公民館職員が選ぶ！講座アワード」受賞館から学ぶ 発表館 津山市大崎公民館、岡山市立岡輝公民館 【表彰式】「第3回公民館職員が選ぶ！講座アワード」表彰式	56名
地域学校協働活動推進員等レベルアップ講座	令和元年6月13日	地域学校協働活動に関係する地域学校協働活動推進員や市町村担当者などが必要とするコーディネート力、ファシリテート力等の資質・能力の育成・向上を図った。 ◆第1回 【講義】「地域と学校を結ぶ地域学校協働活動推進員の役割」 講師 京都造形芸術大学 准教授 濱元 伸彦 【講演】「奈良市地域教育推進事業について」 講師 奈良市教育委員会事務局 地域教育課 地域学校連携係 地域学校連携推進員 羽原 亜紀子 【講演】「支援から協働へ～地域が学校の応援団となる連携活動とコーディネーターの役割～」 講師 奈良市富雄中学校区地域教育協議会 総合コーディネーター 新谷 明美 【ワークショップ】「コーディネーターのいろいろ」 講師 岡山県生涯学習センター 振興課員	27名
	令和元年9月25日 ～9月26日 (再掲)	◆第2回(生涯学習・社会教育関係職員研修講座初任者研修第2回、みんな集まれ！社会教育宿泊研修と兼ねる。) 【講義・演習】「人を巻き込み、動くプロジェクト・集団を生み出す～コーディネーターから場づくりまで～」 講師 株式会社いるむすび 代表取締役 古林 拓也	15名
親育ち応援学習リーダースキルアップ講座	令和元年6月28日	家庭教育関係者や市町村家庭教育担当者等を対象に講義・演習等を行い、ファシリテーターとしてのスキル向上やネットワークの構築を図った。 【講義】「小学校までに育てておきたい力～どの子も伸びる共有型しつけのススメ～」 講師 環太平洋大学 教授 お茶の水女子大学 名誉教授 内田 伸子 【講義】「子どもは変わる・大人も変わる～乳幼児虐待からの再生・青年期は第二の誕生期～」 講師 環太平洋大学 教授 お茶の水女子大学 名誉教授 内田 伸子	38名

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
すこやか家庭教育相談員養成講座・子育てサポータースキルアップ講座	令和元年10月1日	すこやか家庭教育相談員の養成と資質向上、また、家庭教育支援関係者、子育てサポーター等のスキルアップを図り、乳幼児期から少年期の家庭教育に関する専門的知識を習得した。 ◆第1回 【講義】「眠りの脳科学 早ね早おき朝ごはんで 元気モリモリ、やる気グングン、笑顔ニコニコ! グッスリ パッチリ モグモグ大作戦!」 講師 川崎医療福祉大学 教授 保野 孝弘 【講義】「子育ての現状について～対話が消えていく子育て環境～」 講師 山陽学園大学 名誉教授 濱田 栄夫 【講義】「食事の選び方と食の記憶～食が作る今のからだと未来のからだ～」 講師 岡山県栄養士会 管理栄養士 人見 典恵	39名
	令和元年10月17日	◆第2回 【講義】「子育て・親育ちへの支援」 講師 NPO 法人子ども達の環境を考えるひこうせん 代表理事 赤迫 康代 【講義】「発達障害のある子どものこころの理解と支援」 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 日下 紀子 【講義】「スマホ・ネットの身近なトラブルの最新事情と家庭でのルール作り」 講師 就実大学 非常勤講師 筒井 愛知	41名
子どもほっとライン相談員養成講座	令和元年5月12日	新規の学生相談員を養成するため、子どもを取り巻く問題、電話相談の基本的な在り方、カウンセリングに関する知識・技術の習得及び資質の向上を図った。 ◆第1回 【講義】「性の電話」「頻回電話の対応」 講師 三宅医院心理臨床室 課長 清板 芳子 【講義】「いじめ、虐待等の訴えに対する対応」 講師 岡山県中央児童相談所子ども支援課 課長 福田 みのり 【講義】「相談業務について」「相談内容の実際」 講師 電話相談員 小川 倫弘、新庄 加奈	31名
	令和元年5月19日	◆第2回 【講義・演習】「電話相談の歴史・原則」「子どもほっとラインの対応1 2の原則」 講師 就実大学大学院 教授 山本 力 【講義・演習】「メール相談への対応」「メール相談の紙上訓練」 講師 岡山大学大学院 教授 東條 光彦	33名
	令和元年5月26日	◆第3回 【講義】「電話相談での“傾聴”の意義とスキル」 講師 川崎医療福祉大学 教授 武井 祐子 【事例検討会】「子どもほっとラインの事例から考える」 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 中内 みさ	32名
生涯学習大学 ＜主催講座＞ 「サイピア宇宙塾」	令和元年8月17日	天文の基礎知識を学ぶ講義や天体観望会での実技等をとおして、公民館や子ども会、地域のイベント等で天体観望会等を開催できる人材の育成を図った。 ◆第1回 【講座】天体望遠鏡の使い方 【実践】天体望遠鏡を使ってみよう 講師 就実大学薬学部天文部顧問 教授 中西 徹	25名
	令和元年9月6日	◆第2回 【講演】「宇宙を感じる植物のひみつ」 講師 岡山大学資源植物科学研究所 准教授 杉本 学	21名
	令和元年9月7日	◆第3回 【講座】星座や宇宙に強くなる 【実践】天体望遠鏡を使ってみよう 講師 就実大学薬学部天文部顧問 教授 中西 徹	23名
	令和元年10月5日	◆第4回 【講座】天体観望会の開催方法 【実践】天体望遠鏡を使ってみよう 講師 就実大学薬学部天文部顧問 教授 中西 徹	22名
	令和元年10月25日	◆第5回 【講演】「日本一の望遠鏡『せいめい』を支える新技術」	21名

2 市町村・公民館支援

事業名	実施期間	内 容 等
生涯学習・社会教育 よろず相談	年 間	市町村の生涯学習・社会教育計画、各地域に応じた課題、様々な事業などについて、大学関係者、県生涯学習センター社会教育主事が、市町村教育委員会、公民館等に対するコンサルティングを行うことにより、より有効な生涯学習・社会教育推進体制の整備を図った。 ◆1件(奈義町) ◆内容「地域学校協働活動を進めるための仕掛けづくりについて」

3 調査研究、学習情報の発信

事業名	実施期間	内 容 等
調査研究	年 間	平成30年度に県内公民館を対象に実施したものを「公民館実態調査」として冊子に、その概要をリーフレットにまとめ、各市町村教育委員会、公民館、図書館等に配付した。
生涯学習情報提供システムの管理と運営	年 間	「ばるネット岡山」を活用し、講座・イベント、団体、講師等や「おかやま子ども応援人材バンク」の情報等、最新の生涯学習情報を提供するとともに、視聴覚教材のインターネット貸出予約を実施した。
生涯学習情報の収集・整理	年 間	「ばるネット岡山」で提供する「講座・講演情報」「視聴覚教材情報」「講師・ボランティア情報」「子ども向け情報」「子育て支援情報」等12分類の情報収集・整理に努めた。「講師・ボランティア情報」「学習プログラム情報」の更新を、県・市町村・各種団体等と連携して行った。
おかやま子ども応援人材バンク	年 間	企業団体が有している専門的な知識や経験などを学校教育や休日・放課後等における教育活動に取り入れ、子どもの豊かな学びや成長を支援する仕組みづくりを推進した。
生涯学習大学<連携講座>	年 間	行政機関及び民間等が主催する講座を連携講座として協力いただいた。 講座数 759 講座 連携機関 98 機関
学習相談	年 間	学習相談員が視聴覚教材の貸出実績に基づくニーズの分析をしたり、「おかやま子ども応援人材バンク」の相談事例を分野毎に整理したりすることで、生涯学習に関するさまざまな個別の相談に応じた。
情報・図書資料の収集・整理	年 間	図書、逐次刊行物、新聞等を収集・整理し学習者に提供した。
視聴覚コーナーの整備・運営	年 間	郷土に関する映像やアニメーション映画等を提供した。
視聴覚教材・機材の整備、貸出	年 間	県内全域にわたる社会教育団体・学校等に対し、視聴覚教材・機材等の貸出をした。また、DVD 30 作品を購入し、視聴覚教材の整備に努めた。
視聴覚教育の普及・広報活動	年 間	令和2年度版視聴覚教材新着リストを作成するとともに、一般への視聴覚教育の普及と視聴覚教材の利用促進に努めた。
センターだより(情報誌)等の発行	年 間	要覧(1,000部)、情報誌「生涯学習センターだより」(20,000部(6月・3月))、リーフレット等を作成し、関係機関に配付し、センター事業等の紹介をした。

4 「学び・交流の場」としての機能充実

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数	
京山祭	令和元年6月16日 令和元年12月8日	隣接する太陽の丘公園、池田動物園と共同で、子ども向けのイベントを行った。 (※6月16日は「大学コンソーシアム岡山」と共催)	2,300名 2,000名	
発表・展示・体験・交流	年 間	展示スペースを50団体に、自発的・自主的な活動を実践する場として交流棟1階交流ロビーを1団体(2回)に提供した。		
活動促進支援 ボランティアの	企画Labの運営	年 間	小・中学生を対象に交流棟2階交流ゾーン等で「みんなのひみつ基地」イベントを企画・運営した。新たな運営者による「お話広場」と「夜Café」を立ち上げた。	
	イベントの運営・補助	年 間	京山祭や宇宙の学校等の出展ブースの企画・運営、運営補助等の活動の場を提供した。県民を対象に自主的に企画・運営した「ものづくり教室」の活動の場として交流棟1階の交流ロビーを提供した。(年間3回)	
生涯学習大学	<主催講座> きっず☆ユニバ	ユニスタ会 ①令和元年7月7日 ②令和元年7月13日 ③令和元年7月21日 ④令和元年7月27日 ⑤令和元年10月6日 スペシャル☆ユニ日 ⑥令和元年12月15日 ⑦令和2年1月26日	岡山県立の文化・社会教育施設8施設が連携して、子どもたちの学びを支援する。学びのスタートキット(ガイドブックや記録ノート)を片手に、各施設をキャンパスとして訪ね、「ホンモノ(美術・文化財・自然等)」と出会いながら、主体的に学んでいく。 「スペシャル☆ユニ日」(各施設での連携・協働ができるイベント)の実施 ⑥「土」コース ⑦「木」コース	①19名 ②11名 ③13名 ④19名 ⑤12名 ⑥12名 ⑦14名
	<主催講座> 若者未来カレッジ	令和元年9月20日 令和元年9月18日 令和元年9月19日	Aコース(きらめく光の世界へ:キャンドル) ・講師のワークショップ ・キャンドル作り ・キャンドル点灯 Bコース(#地球の裏側:写真・フェアトレード) ①写真の撮り方、②アフリカ布のワークショップ、③講演 ④カカオワークショップ、⑤井上さんの話、⑥守都さんのワークショップ	9名 18名

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
生涯学習の集い	令和2年2月16日	岡山県生涯学習大学受講生を対象にした証書授与と体験発表を行い、学習意欲の一層の喚起を図るとともに、講演・交流を中心としたフォーラムを開催することで、多くの県民に生涯学習の普及・啓発を図った。 ◆証書授与 ◆体験発表 ◆フォーラム 【講演】「大道芸での触れ合いを通じて学んだ大切なこと」 講師 田久 朋寛（大道芸人たつきゅうさん） 【ワークショップ】「色紙に描こう！私に贈る言葉」	56名
施設・設備の提供	年 間	県民に生涯学習センターの施設・設備を開放したり、貸出したりした。	

5 科学教育の推進

JAXAとの連携事業

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
学校教育支援	令和元年7月10日	<指定校>新見市立上市小学校 ◆第1回 【内容】かさ袋ロケットを作って飛ばす活動を通して、実際のロケットが安定飛行のために様々な工夫がされていることに気付く。 講師 JAXA宇宙教育推進室 主事補 古賀 友輔	15名
	令和元年11月27日	◆第2回 【内容】太陽系の大きさや各惑星の位置や直径について理解を深める。 講師 JAXA宇宙教育推進室 主事補 古賀 友輔	12名
	令和元年10月23日	<指定校>瀬戸内市立行幸小学校 ◆第1回 【内容】雲の動きを動画で確認することで、台風の発生の仕組みや台風の動き方の決まりについて理解を深める。 講師 JAXA宇宙教育推進室 主事補 古賀 友輔	62名
	令和元年10月24日	◆第2回 【内容】人工衛星から得られた太陽や月の表面の様子を3D映像で見ることで、惑星や太陽、月について理解を深める。 講師 JAXA宇宙教育推進室 主事補 古賀 友輔	65名
教員研修支援	令和元年6月27日 (総合教育センター)	【演習①】宇宙教育教材体験「コミュニケーション能力を鍛えよう！」 【演習②】宇宙教育教材体験「フィルムケースロケットを飛ばそう！」 【演習③】宇宙教育教材体験「デジタル地球儀・Dagik Earth（ダジック・アース）を活用しよう！」 【演習④】宇宙教育教材を活用した指導案づくり 「どう生かす？宇宙教育教材を活用して興味・関心を高める授業のアイデア」 講師 JAXA宇宙教育推進室 主 事 野村 健太 主事補 古賀 友輔	14名
コズミックカレッジ	令和2年1月19日	【内容】「宇宙飛行士候補者選抜試験に挑戦！」 ・ミラーボックスで宇宙飛行士の作業体験 ・コミュニケーション力を鍛えよう ・ホワイトパズルに挑戦しよう 講師 立命館大学総合科学技術研究機構 プロジェクト研究員 船田 智史	35名 (29家族)
社会教育支援	令和元年6月30日	第1回【内容】・開校式 ・熱気球 ・葉脈のしおりやカードを作る 講師 KU-MA講師 下田 治信	121名
	令和元年8月25日	第2回【内容】・風見鶏をつくる ・かさ袋ロケットをつくって飛ばそう 講師 岡山県立岡山芳泉高等学校 教諭 松本 一郎	117名
	令和元年12月1日	第3回【内容】・回っているコマはどうして倒れないの？ ・月と地球と太陽の話 講師 KU-MA会長 並木 道義	93名
	令和2年2月2日	第4回【内容】・飛行機を作って飛ばそう ・レポート発表会 ・閉校式 講師 KU-MA副会長 稲葉 茂	80名
	令和元年6月9日	指導者セミナー【内容】・「宇宙の学校」の概要 ・岡山県「宇宙の学校」で使用する宇宙教育教材の説明と演習 講師 KU-MA副会長 稲葉 茂	28人

6 施設設備の利用状況

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(ア) 情報・創作棟利用（施設貸出）

(件)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
視聴覚室	14	11	11	15	12	12	16	12	12	14	14	9	152
大研修室	19	24	26	26	23	23	28	22	16	20	29	8	264
洋研修室	11	13	11	19	16	13	17	16	11	13	16	7	163
和研修室	4	6	7	10	6	6	7	11	9	4	10	8	88
ミーティング室1	16	24	20	29	23	19	20	24	13	20	22	12	242
ミーティング室2	19	23	20	27	24	24	22	27	21	22	20	14	263
ミーティング室3	16	23	21	16	17	22	22	24	16	23	21	12	233
ミーティング室4	14	19	20	24	19	24	27	33	18	20	21	15	254
ミーティング室5	16	17	22	26	17	17	25	31	19	23	21	19	253
美術教室	6	7	12	6	5	11	11	9	9	9	9	0	94
木工教室	6	5	8	6	1	12	7	8	5	3	3	2	66
陶芸教室	10	9	12	12	7	13	13	12	11	10	10	5	124
書道教室	15	15	18	17	9	12	27	14	16	13	12	7	175
パソコン教室1	1	1	1	6	2	2	1	1	2	1	0	0	18
パソコン教室2	1	1	0	4	1	3	3	4	6	4	2	3	32
ボランティア室	15	18	14	25	15	14	17	26	17	20	18	9	208
録画・録音スタジオ	0	4	2	4	3	3	8	4	6	4	2	1	41
試写室	7	7	7	4	6	8	9	6	6	7	11	1	79
編集室	0	1	0	4	3	0	0	4	5	0	0	0	17

(イ) 交流棟利用（施設貸出）

(件)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
交流棟展示スペース	9	23	14	16	29	24	21	18	16	21	33	26	250

(ウ) 人と科学の未来館サイピア利用（施設貸出）

(件)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サイエンスドーム	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
科学体験・学習広場	5	13	17	16	4	12	50	23	3	0	1	2	146
企画展示室	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
プロデュースセンター	0	1	1	1	2	1	1	0	1	1	1	0	10

(エ) 人と科学の未来館サイピア利用（施設入館等）

(人)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サイピア入館者数	7,947	11,628	8,122	9,163	11,692	7,956	9,628	8,041	5,540	5,857	8,015	465	94,054
サイエンスドーム観覧者数	2,919	3,399	2,632	3,821	4,383	3,442	4,652	2,678	1,311	1,540	2,037	145	32,959

7 生涯学習情報提供システム（ばるネット岡山）

データ保有数

(令和2年3月31日現在)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数
講座・イベント	3,064	団体・グループ	48	講師・ボランティア	168	学習プログラム	99
視聴覚教材	6,025	おかやま子ども応援人材バンク	118	合 計			9,522

8 学習相談件数

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	合 計
講座・団体・講師	37	施設・設備	385	図書・DVD	183	932
視聴覚教材	49	おかもや子ども応援人材バンク	29	学習プログラム・その他	249	

9 視聴覚コーナー

(ア) ソフト保有本数 (DVD)

(令和2年3月31日現在)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	合 計
郷土	25	アニメ	214	洋画	116	979
邦画	123	教養	87	その他	414	

(イ) 利用状況

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

種 類	DVD教材
回 数	1,095

10 視聴覚教材コーナー

(ア) 保有本数

(令和2年3月31日現在)

DVD教材	ビデオ教材	16ミリ映画	合 計
978	3,229	1,692	5,899

(イ) 貸出状況

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

施設設備名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用本数(本)	DVD教材	21	31	81	102	44	26	45	61	36	52	29	11	539
	ビデオ教材	0	3	6	2	3	2	3	0	3	3	1	0	26
	16ミリ映画	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
	計	21	34	87	104	50	28	48	61	39	55	30	11	568
閲覧者数(人)	DVD教材	1,285	2,519	10,299	6,708	1,725	1,769	3,681	11,862	7,297	7,143	1,442	304	56,034
	ビデオ教材	0	170	1,703	35	15	260	75	0	18	82	4	0	2,362
	16ミリ映画	0	0	0	0	45	0	0	0	0	0	0	0	45
	計	1,285	2,689	12,002	6,743	1,785	2,029	3,756	11,862	7,315	7,225	1,446	304	58,441

11 図書・ブラウジングコーナー

図書所蔵冊数

(令和2年3月31日現在)

区 分	冊 数	区 分	冊 数	区 分	冊 数
一般図書	24,274	購入雑誌	18タイトル	購入新聞	6紙

6 関係条例及び規則

岡山県生涯学習センター条例

平成8年12月24日
岡山県条例第39号

(目的及び設置)

第1条 県民の生涯にわたる学習活動（次条において「生涯学習」という。）の振興を図るため、岡山県生涯学習センター（以下「センター」という。）を岡山市に設置する。

(業務)

第2条 センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 生涯学習指導者の養成及び生涯学習関係者の研修
- (2) 生涯学習に関する情報の収集及び提供並びに生涯学習相談
- (3) 生涯学習に関する講座の開設
- (4) 生涯学習に関する調査及び研究
- (5) 科学に関する学習の機会の提供
- (6) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）の提供
- (7) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的の達成に必要な業務

(開所時間及び休所日)

第3条 センターの開所時間及び休所日は、教育委員会規則で定める。

(指定管理者による管理)

第4条 センターの管理に関する業務のうち次条に規定する業務は、第13条第1項の規定により岡山県教育委員会（以下「教育委員会」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第5条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 施設等の維持管理に関すること。
- (2) 施設等の利用の許可に関すること。
- (3) 施設等の提供に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、センターの運営に関し教育委員会が必要と認める業務

(利用等の許可)

第6条 センターにおいて次に掲げる行為をしようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

- (1) 別表の1から3までに掲げる施設等の利用
- (2) サイエンスドームにおける天体運行等の投影の観覧

2 指定管理者は、センターの管理上必要な範囲内で前項の許可に条件を付することができる。

3 指定管理者が別に定める観覧券により観覧しようとする者については、第1項第2号の観覧に係る許可を受けたものとみなす。

(入所の制限等)

第7条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、センターへの入所を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) 公共の秩序を乱し、又は善良の風俗を害するおそれがある者
- (2) 施設等を損傷するおそれがある者
- (3) 施設等の利用が、集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれがある団体の利益になると認める者
- (4) その他センターの管理上支障があると認める者

(許可の取消し等)

第8条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、第6条第1項の許可を取り消し、若しくはその条件を変更し、又は行為の中止、原状回復若しくはセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則又はこれらの規定に基づく処分に違反している者
- (2) 偽りその他不正な手段により第6条第1項の許可を受けた者
- (3) 第6条第2項の条件に違反している者

2 指定管理者は、施設等に関する工事のためその他公益上やむを得ない必要が生じたときは、第6条第1項の許可を受けた者（次条において「利用者」という。）に対して、同項の許可を取り消し、又はその条件を変更することができる。

(利用料金)

第9条 第6条第1項の許可を受けた行為に係る料金（以下この条において「利用料金」という。）は、指定管理者にその収入として収受させる。

2 利用料金は、別表に掲げる基準額に0.5を乗じて得た額から当該基準額に1.5を乗じて得た額までの範囲内の額で指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。

3 利用者は、指定管理者に利用料金を前納しなければならない。ただし、指定管理者が別に納期を定めたときは、この限りでない。

4 指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を受け、利用料金を減免することができる。

5 納付した利用料金は、返還しない。ただし、利用者の責めに帰することができない理由により許可を受けた施設等を利用することができなくなったときその他指定管理者が相当の理由があると認めるときは、この限りでない。

(職員)

第10条 センターに、所長その他必要な職員を置く。

(指定管理者の公募)

第11条 教育委員会は、指定管理者の指定をしようとするときは、教育委員会規則で定めるところにより、当該指定を受けようとするものを公募するものとする。ただし、特別の理由がある場合は、この限りでない。

(指定管理者の指定の申請)

第12条 指定管理者の指定を受けようとするものは、センターの管理に係る事業計画書その他教育委員会規則で定める書類を添えて、教育委員会に申請しなければならない。

(指定管理者の指定)

第13条 教育委員会は、次の各号のいずれにも該当するもののうちから最も適当と認めるものを指定管理者として指定するものとする。

- (1) 事業計画の内容が住民の平等な利用を確保することができるものであること。
- (2) 事業計画の内容がセンターの機能を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を安定して行うことができるものであること。
- (4) その他センターの業務を効果的に行うため教育委員会が必要と認める基準に適合するものであること。

2 教育委員会は、前項の規定による指定をしたときは、その旨を告示するものとする。

(事業報告書の提出)

第14条 指定管理者は、教育委員会規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。

(業務報告等)

第15条 教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対して、当該管理の業務又は経理の状況に関し報告を求め、実地について調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第16条 教育委員会は、指定管理者が前条の指示に従わないときその他当該指定管理者による管理を継続することが適当でないと認めるときは、その指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ずることができる。

2 教育委員会は、前項の規定による指定の取消しをしたときは、その旨を告示するものとする。

(教育委員会規則への委任)

第17条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、平成9年1月1日から施行する。

(中略)

附 則

この条例は、令和2年4月1日から施行する。

岡山県生涯学習センター条例別表（第6条、第9条関係）

- | | |
|---------------------------------------|--------|
| 1 施設（情報創作棟施設、人と科学の未来館サイピア施設） | } (表略) |
| 2 冷暖房設備（情報創作棟冷暖房設備、人と科学の未来館サイピア冷暖房設備） | |
| 3 設備金額（液晶プロジェクター等） | |
| 4 観覧料（人と科学の未来館サイピア観覧料） | |

岡山県生涯学習センター条例施行規則

平成8年12月24日
岡山県教育委員会規則第19号

(趣 旨)

第1条 この規則は、岡山県生涯学習センター条例(平成8年岡山県条例第39号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開 所 時 間)

第2条 岡山県生涯学習センター(以下「センター」という。)の開所時間は、次のとおりとする。

区 分		開所時間
児童遊園地		午前9時から午後5時まで
その他の区域	火曜日から土曜日まで(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)を除く。)	午前9時から午後9時まで
	日曜日及び休日	午前9時から午後5時まで

2 前項の規定にかかわらず、岡山県教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要があると認めるときは、開所時間を臨時に変更することができる。この場合においては、あらかじめその旨をセンターの掲示板に公示するものとする。

(休 所 日)

第3条 センターの休所日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が休日に当たるときを除く。)
- (2) 休日の翌日(その日が休日でない火曜日から金曜日までに当たるときに限る。)
- (3) 12月28日から翌年の1月4日まで

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、休所日に開所し、又は臨時に休所日を定めることができる。この場合においては、あらかじめその旨をセンターの掲示板に公示するものとする。

(天体運行等の投影の回数等)

第4条 サイエンスドームにおける天体運行等の投影の回数及び開始時刻は、指定管理者(条例第4条に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)が教育委員会の承認を受けて定めるものとする。

(利用の許可の申請)

第5条 条例第六条第一項の規定により、条例別表に掲げる施設又は設備(以下「施設等」という。)の利用の許可又は許可を受けた事項の変更の許可を受けようとする者は、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定める申請書を指定管理者に提出しなければならない。

(利用者等の遵守事項)

第6条 条例第六条第一項の許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。利用者の行う行事等のために入所する者も、同様とする。

- (1) 利用の許可を受けた施設以外の施設に立ち入らないこと。
- (2) 利用の許可を受けた設備以外の設備を利用しないこと。
- (3) 火災、盗難等の事故の発生予防に留意すること。
- (4) センターの職員又は指定管理者の指示に従うこと。
- (5) その他教育委員会又は指定管理者が必要と認める事項

(損壊の届出等)

第7条 利用者は、施設等を損壊し、又は滅失したときは、直ちに教育委員会又は指定管理者に届け出てその指示に従わなければならない。

(利用の終了の届出)

第8条 利用者(条例第6条第1項第2号の観覧に係る許可を受けた者を除く。)は、施設等の利用を終了したときは、速やかに指定管理者に届け出なければならない。

(視聴覚教材等の貸し出し)

第9条 視聴覚教材及び視聴覚機材の貸し出しは、生涯学習の目的のために利用する場合に限り、行うものとする。

2 前項の貸し出しを受けようとする者は、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定める申請書を指定管理者に提出しなければならない。

(そ の 他)

第10条 この規則に定めるもののほか、センターの管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会、所長又は教育委員会の承認を受けて指定管理者が別に定める。

附 則

この規則は、平成9年1月1日から施行する。

(中略)

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

施設等利用料金表

(令和2年4月1日改定)

<情報・創作棟施設・設備利用>

(単位：円)

区分 施設・設備等(定員・面積・階)				9:00～ 12:00	13:00～ 17:00	18:00～ 21:00	9:00～ 17:00	13:00～ 21:00	9:00～ 21:00	冷房 (1時間当)	暖房 (1時間当)
視聴覚室	72人	261㎡	1F	5,500	7,400	5,500	14,600	14,600	21,900	650	540
大研修室	150人	261㎡	2F	5,200	6,900	5,200	13,700	13,700	20,500	650	540
中研修室	60人	116㎡	4F	2,100	2,800	2,100	5,800	5,800	8,600	270	220
洋研修室	12人	33㎡	3F	900	1,200	900	2,300	2,300	3,400	80	60
和研修室	8畳	33㎡	3F	600	800	600	1,600	1,600	2,500	80	60
ミーティング室①	18人	28㎡	2F	600	800	600	1,600	1,600	2,400	70	50
ミーティング室②	12人	22㎡	2F	500	600	500	1,300	1,300	1,900	50	40
ミーティング室③	18人	28㎡	2F	600	800	600	1,600	1,600	2,400	70	50
ミーティング室④	18人	40㎡	4F	800	1,000	800	2,000	2,000	3,000	90	80
ミーティング室⑤	26人	58㎡	5F	1,100	1,400	1,100	2,900	2,900	4,300	130	110
ミーティング室⑥	12人	21㎡	5F	500	600	500	1,200	1,200	1,800	50	40
美術教室	35人	80㎡	3F	2,900	3,800	2,900	7,700	7,700	11,500	390	310
木工教室	8人	39㎡	3F	1,000	1,300	1,000	2,600	2,600	3,800	90	70
陶芸教室	24人	39㎡	3F	800	1,100	800	2,100	2,100	3,200	90	70
書道教室	32人	66㎡	3F	1,200	1,600	1,200	3,200	3,200	4,900	150	130
パソコン教室	20人	66㎡	4F	3,100	4,100	3,100	8,200	8,200	12,200	150	130
ボランティア室	18人	40㎡	4F	800	1,000	800	2,000	2,000	3,000	90	80
スタジオ(控室)	—	116㎡	5F	2,100	2,800	2,100	5,800	5,800	8,600	270	220
試写室	18人	66㎡	5F	1,400	1,900	1,400	3,700	3,700	5,600	150	130
放送設備				一式1時間につき 380円(交流棟に保管しているもの)							
資料提示装置				一式1時間につき 140円(大研修室)							
液晶プロジェクター				一式1時間につき 230円(大研修室)							
茶道具				一式1時間につき 710円(和研修室)							
ピアノ				一式1時間につき 1,010円(録画・録音スタジオ)							
陶芸窯				一台1時間につき 920円							

<人と科学の未来館サイピア施設利用>

区分 施設・設備等(定員・面積・階)				9:00～ 12:00	13:00～ 17:00	18:00～ 21:00	9:00～ 17:00	13:00～ 21:00	9:00～ 21:00	冷房 (1時間当)	暖房 (1時間当)	
サイエンス ドーム	132席	176㎡	2F	投影装置を使用する場合	51,100	68,100	51,100	136,200	136,200	204,300	1,200	1,130
				投影装置を使用しない場合	8,900	11,900	8,900	23,700	23,700	35,500	1,200	1,130
科学体験・学習広場	—	237㎡	1F	5,800	7,700	5,800	15,500	15,500	23,200	410	310	
企画展示室	—	101㎡	2F	2,100	2,900	2,100	5,700	5,700	8,500	170	130	
プロデュースセンター	—	70㎡	1F	1,800	2,300	1,800	4,700	4,700	7,000	120	100	

※12:00～13:00及び17:00～18:00の使用料の額は13:00～17:00の使用料額の1/4の額とする。(10円未満切り上げ)

※1時間未満の時間は1時間として計算する。

冷房期間：6月1日～9月30日、暖房期間：12月1日～3月31日

特例期間：上記冷暖房期間の前後2週間程度(工事などのため、冷暖房の利用ができない場合がある。)

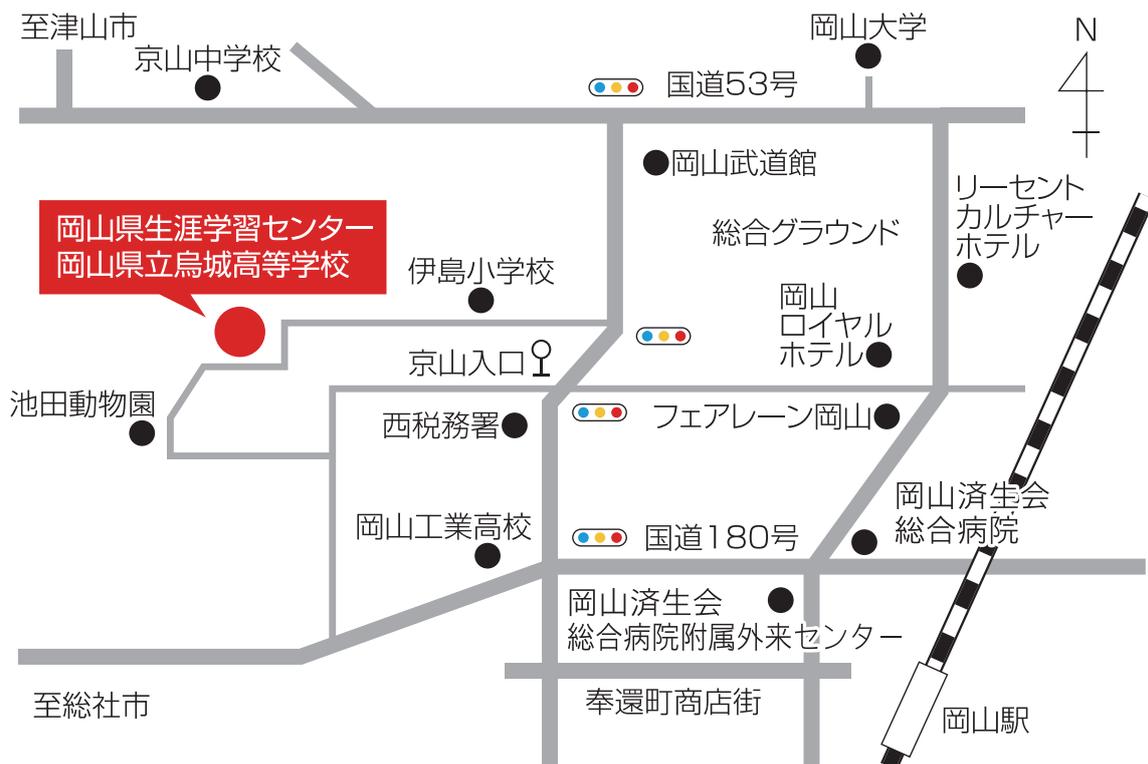
<人と科学の未来館サイピア観覧料>(1人1回につき)

(令和元年10月1日改定)

区分	観覧料	割引料金
一般(65歳未満)	530	団体480/ももっこ500
一般(65歳以上)	320	団体270/ももっこ300
高校生	310	団体250/ももっこ250
小学生・中学生	110	団体90/ももっこ90
小学生未満	無料	無料

※友の会会員は年度内無料、団体利用(30名以上)及びももっこカード利用による観覧の場合は割引料金を適用する。ただし、特別投影及びイベント等を除く。

交通案内



- 車** ・JR岡山駅運動公園口(西口)から約5分 ・山陽自動車道岡山I.Cから約10分 (伊島小学校前西進つきあたり)
- バス** ・岡電バスJR岡山駅運動公園口(西口)から中央病院線京山入口下車 徒歩8分(所要時間約13分)
- 徒歩** ・JR岡山駅運動公園口(西口)から約25分(1.7km)

※ナビで「岡山県生涯学習センター」が見つからない時は、
「岡山県立烏城高等学校」で入力してください。

開所時間

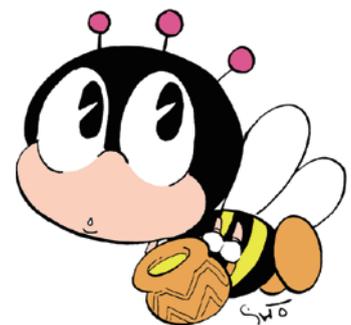
火曜日～土曜日：午前9時 から 午後9時 まで
日曜日・祝日：午前9時 から 午後5時 まで

休所日

月曜日 (その日が祝日に当たるときを除く。)
祝日の翌日 (その日が祝日でない火曜日から金曜日までに当たるときに限る。)
12月28日 から 翌年1月4日 まで

お問い合わせ

- 総合案内 (施設・視聴覚教材等予約) ☎086-251-9788 fax 086-251-9781
- 総務課 ☎086-251-9750 fax 086-251-9757
- 振興課 ☎086-251-9751
- 学習相談 ☎086-251-9758
- 人と科学の未来館サイピア ☎086-251-9752 fax 086-251-9780



生涯学習マスコット
「マナビ」

発行

岡山県生涯学習センター

〒700-0016 岡山市北区伊島町三丁目1番1号

<http://www.pal.pref.okayama.jp/>
<https://www.facebook.com/okasyogaise/>

ばるネット岡山

検索